



ほっと通信

以前、研究部で私が研究通信を出したときは、年間たった2号で終わってしまいました(笑) それを超える私にとって記念すべき第3号です!

今年度の研究について

今年度の研究について、5月18日の研究部会でお伝えする予定ですが、ざっくりとしたスケジュールをここでお伝えします!

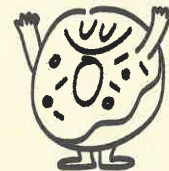
そして、今年度の研究も、長年豊北に深く関わってくださっている教育専門官の●●先生に指導助言をお願いしたいと考えています。●●先生よろしくをお願いします!!

- 5月末~6月初め・・・5年算数研究授業「小数のかけ算」
- 6月中旬・・・・・・・・研究全体会 (5年算数研究授業事後研)
- 夏休み・・・・・・・・各学年で指導案作成
- 9月・・・・・・・・授業見学期間
- 10月9日(金)・・・SE公開研 (六中校区教研と兼ねる)
- 3学期・・・・・・・・各学年で研究授業

5年「小数のかけ算」は、かけ算に困り感を持っている子どもたちが多くいる中で、どんな授業を作っていけるか、考えてみたいと思っています。

今年度は、授業の子どもたちの様子や手立てから「子ども観」「授業観」「学力観」について交流して深めていきたいと考えています。

SE公開研での成果や課題を踏まえて、ブラッシュアップさせた授業を互いに交流し、次年度につなげられるような場になればと思っています。



おすすめ図書



鳥の言葉がわかるって、いいですね?

「僕には鳥の言葉がわかる」 著:鈴木俊貴

書店員が選ぶノンフィクション大賞2025にも選ばれた本です。シジユウカラのことが好きすぎる著者が、森で研究を続け、ついにシジユウカラが話す言葉や文までも解明し、「動物言語学」という新しい領域の学問を生み出すお話です。「好き」ということは、人をどこまで突き動かすのかと、その情熱や行動力に驚かされるし、「人間だけが言葉を持つ特別な存在ではない」という謙虚な姿勢に心打たれます。私自身、この本を読んでから、鳥の声に耳を傾けるようになりました。

「海が見える家」 著:はらだみずき

●●先生のオススメでお借りした本です。読み始めると矢が気になって一気に読んでしまいました!

主人公の文哉は、入社1ヶ月で会社を辞めた直後、疎遠になっていた父の死を知らされるころから物語は始まります。そして、父が暮らしていた海が見える家で父の足跡を辿る中で、意外な事実を突きつけられ、自分の人生を見つめ直していきます。

生きることの意味や、幸せとは何かということについて、じんわりと考えさせられる素敵な作品です。

